



第153期 株主レポート

2018年3月1日から2019年2月28日まで

 Takashimaya



取締役社長 村田 善郎

SDGsを経営に組み込み、  
企業としての持続的な成長を  
目指してまいります。

#### 百貨店業をコアにグループシナジーを発揮

株主の皆様には、日頃よりご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。ここに第153期株主レポートをお届けいたします。

2018年度は国内百貨店を主因に前年から増収したものの、日本橋高島屋S.C.をはじめとする将来成長へ向けた先行投資により減益となりました。本年度は投資効果を発揮し、再び増益を計画しております。

成長戦略においては、百貨店とグループ会社、リアルとネット、国内と海外などグループシナジー（相乗効果）をさらに発揮させ、次世代の百貨店グループへと進化させてまいります。コア事業である百貨店は、今後もグループ総合戦略「まちづくり戦略」のもと、地域に根ざし、常に高揚感を感じていただける店づくりを目指してまいります。

一方で、国内需要の縮小や消費増税影響、人件費・物流費といった社会コスト増など、対応すべき

	2017年度実績	2018年度実績	2019年度予想
営業収益	9,078 (2.5%)	9,128 (0.6%)	9,420 (3.2%)
営業利益	353 (3.9%)	267 (△24.5%)	310 (16.3%)
経常利益	386 (3.7%)	312 (△19.1%)	290 (△7.2%)
親会社株主に帰属する当期純利益	237 (13.4%)	164 (△30.5%)	200 (21.6%)

※当連結会計年度より、国際財務報告基準(IFRS)に準拠した財務諸表を連結している在外連結子会社の消化仕入取引について、売上総利益相当額を「売上高」に計上する純額表示に変更しています。前連結会計年度については、遡及適用後の数値を記載しています。

同様に、2019年度よりIFRS第16号「リース」が適用されます。そのため、上記連結業績予想は適用後の金額です。なお、遡及適用しないため、対前期の増減率は適用前の2018年度の実績値にて算出しています。

課題は数多くあります。

あらゆる観点から経営・営業施策をゼロベースで見直し、経営トップとして経営改革の断行をリードしていくことで、企業の持続的成長を実現してまいります。

## SDGsを本業の軸に社会課題を解決

本年度、SDGsを経営戦略に組み入れ、「高島屋グループ SDGs原則」を策定し、5つの重点テーマごとに達成へのロードマップを設定いたしました。地球環境・社会課題の解決という側面と、本業を軸とする事業成長の両面から主体的に取り組み、持続的成長を実現してまいります。

## まちづくりの深耕、そして成長分野への投資、安定的な成長基盤を構築

今年、開業50周年の玉川高島屋S・Cでは玉川店が食料品フロアを改装し、横浜店も国内最大級5千㎡

の食料品フロアの完成を2021年に計画しております。大阪では、オフィス機能と高島屋史料館を擁する東別館を文化的価値の高い建築様式を生かしてリノベーションいたします。

また不動産や金融業、海外事業を成長分野と捉え、積極的に投資していくことで、安定的な成長基盤を構築してまいります。

## 今期も安定的な株主還元を継続。

当社では、安定的な配当水準を維持することを基本スタンスとしながら、業績や経営環境を総合的に勘案し、株主の皆様への利益還元を図ってまいります。この方針のもと、当期の1株当たり期末配当金につきましては12円、年間配当金につきましては株式併合後の基準で換算して24円とさせていただきます。

引き続き株主の皆様のご支援・ご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 事業を通じ社会課題の解決と企業としての持続的成長を目指す

当社は、経営理念に「いつも、人から。」を掲げています。そしてこの度、SDGsを経営戦略の根幹に組み入れ、全てのステークホルダーの皆様とともに持続可能な消費・サービスモデルを構築することを経営課題として目指しています。本業を通じた社会課題解決への貢献と事業成長の両立を図るべく、5つの重点テーマからなる「高島屋グループ SDGs原則」を策定しました。常にこの原則を傍らに置き、グローバルな視点にたつて、企業としての社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

### 高島屋グループ SDGs原則

1. 私たちは、あらゆる資源や環境に配慮した事業活動を通じて、気候変動・環境汚染防止対策に取り組めます。
2. 私たちは、地域社会・文化を大切にし、まちの活性化、まちづくりに貢献します。
3. 私たちは、全てのお客様にとってアクセスフリーかつストレスフリーで快適な空間を提供します。
4. 私たちは、安心・安全はもちろん、地球環境・労働慣行に適した「持続的な」価値ある商品・サービスを提供します。
5. 私たちは、年齢・性別・障がい・人種などや雇用形態に関係なく、当社で働く全ての人に、健康で自由に挑戦できる機会を提供し、働きがいを創出します。

### 「持続可能な開発目標 (SDGs)」とは

2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなし、2030年までに全世界が取り組むべき目標 (Sustainable Development Goals) のことです。17の「持続可能な開発目標 (SDGs)」と169の具体的なターゲットが決められており、世界に対してより具体的なアクションをとるよう明確化されています。





## 5つの重点テーマと達成へのロードマップ<sup>(※1)</sup>

		~2020年	~2025年	~2030年	~2050年
1.地球環境への配慮	RE100 <sup>(※2)</sup> 加盟	RE100加盟			
	 	再生可能エネルギー100%への転換			
	排出CO <sub>2</sub> ゼロ	外商車両・配送車両のゼロエミッション・EV化			
		施設排出CO <sub>2</sub> ゼロ化			
	廃棄プラスチックゼロ	レジ袋・ストローの生分解材への転換			
	 	食料品容器など生分解材・非プラ材への転換			
		再生可能エネルギーに転換する自社設備 ないし他社設備利用によるリサイクル100%の実現			
2.まちづくり	地域協同型サービス・ インフラ拡大	地域産品や地場商品の開拓 売場拡充			
	 	地域の課題ニーズに対応した 売場・サービスの提供			
		地域と協同利用する各種インフラの整備			
3.アクセスフリー・ ストレスフリーな 商品・施設	ユニバーサルマナー・ 商品拡充／売場構築ほか	全てのお客様に安全で ストレスのない商品の提供	売場の構築		
	 	全てのお客様に安全でストレスのないハード・ソフト 両面での施設環境整備			
4.持続可能な商品・ サービスの提供	児童労働完全撤廃	不当・児童労働撲滅に 向けた取引指針の徹底			
	 	貧困の連鎖を防ぐ調達方針の制定			
	環境配慮商品・売場拡充	環境配慮商品の拡充			
	  	環境配慮売場の構築			
	食品ロスゼロ	賞味期限・消費期限の 一部見直し			
		「廃棄しない」仕組みづくり 二次加工・フードバンクなど			
	食品廃棄物から再生可能エネルギーに転換する自社設備 ないし他社設備利用によるリサイクル100%の実現				
5.働きがいの創出	完全平等同一機会の提供 エンゲージメントの向上	年齢、性別、障がい、国籍を 問わず多様な人材が活躍 できる環境整備			
	   	本人の適性や志向を踏まえた最適な人材の配置			

(※1) 表記の達成時期は政策や技術革新などの環境変化に応じ、更新・修正します。

(※2) 「Renewable Energy 100%」の略称。事業で使用するエネルギーを100%再生可能エネルギーにすることを宣言した企業の連合体で、2014年にイギリスに本部を置く国際環境NPOのThe Climate Groupが中心となって設立しました。

## 2019年3月5日、日本橋高島屋S.C.グランドオープン。



成長戦略の一環として、当社はSDGsに取り組み、重点テーマであるまちづくりを引き続き推進していきます。

日本橋高島屋S.C.は、東京・日本橋のアンカーとして、街を活性化させていく役割を担っており、百貨店である本館や専門店ゾーンである新館、タカシマヤウオッチメゾン、

東館の4館を一つの館として融合した商業施設です。

今年の3月には、本館の改装が完了し、グランドオープンを迎えました。百貨店が得意とする編集力やサービスを生かした売場や施設を強化し、まちづくり戦略を体現する





象徴店舗として生まれ変わりました。

鮮度の高い旬な品揃えに加え、営業時間の自由度を高め、消費に対応していく専門店の強みと、百貨店の買い回りの楽しさを融合させることで、変わりゆくお客様のニーズに幅広く対応する体制が整いました。





高島屋史料館TOKYO

## 生活文化を発信する施設や 憩いのスペースがオープン

大阪の高島屋史料館に次ぐ新たな文化拠点「高島屋史料館TOKYO」や、高いサービスクオリティーの新しい車寄せ、本館・新館・東館合わせて約6,000㎡の屋上庭園など、生活文化を発信する施設や憩いのスペースなどが加わりました。

また、百貨店が得意とするアイテム編集売場として、「ドレスアップクローゼット」と「ギャラリー ル シック」がオープンしました。パーティーシーンを彩るドレスや、発見する楽しみがあるプレステージ雑貨などをセレクトしています。



屋上庭園



車寄せ



ドレスアップクローゼット



ギャラリー ル シック





## タイ・バンコクにサイアム高島屋がオープン ASEAN戦略の新たな拠点に

2018年11月、大型複合施設ICONSIAM(アイコンサイアム)のアンカーテナントとして、サイアム高島屋がオープンしました。日本で人気のファッションブランドから北海道のアンテナショップ、青果や鮮魚などが並ぶスーパーマーケットまで、7フロアにタイ初登場の約80ブランドを含む530ブランドが揃っています。日本ブランドやタイ初の様々なサービスにより、バンコクのお客様からの評価は高く、早期の黒字化を目指していきます。



ローズダイニング



北海道どさんこプラザ



化粧品フロア



キッズフロア

## グループシナジーを最大限発揮し、安定的成長を実現

当社ではグループ総合戦略「まちづくり戦略」のもと、地域と共生する街のアンカーとしての役割を發揮し賑わいに貢献するとともに、館の魅力を最大化する独自の商業施設づくりを進めています。国内百貨店や国内グループ、海外事業のグループ力を結集し、シナジーを發揮することで、安定的成長を実現していきます。そして将来を見据えた財務戦略により事業基盤を拡充していきます。

さらにSDGs達成に向けた取り組みを推進していきます。

2023年度には営業収益9,900億円、営業利益430億円の達成を目指します。

高島屋グループ長期プラン

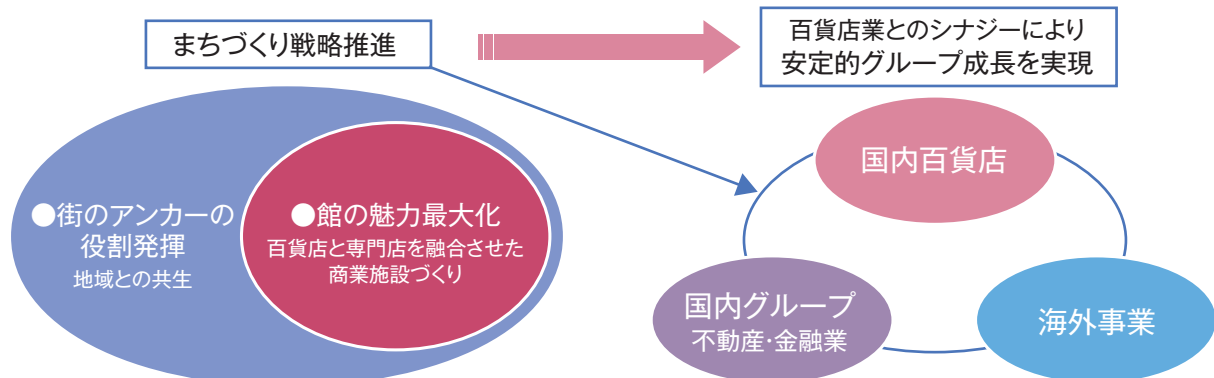
	2018年度	2023年度計画 <sup>(*)</sup>
営業収益	9,128億円	9,900億円
営業利益	295億円	430億円
ROE	3.3%	5.0%
ROA	2.5%	3.7%
自己資本比率	37.7%	42.9%

	2023年度計画
営業キャッシュフロー	2,100億円
投資キャッシュフロー	△2,100億円
財務キャッシュフロー	△200億円
有利子負債	1,948億円

<sup>\*</sup>国際財務報告基準(IFRS)に準拠する在外子会社において、IFRS第16号「リース」を適用後の目標値としており、2018年度実績も同基準で試算し、比較しています。

## グループ総合戦略「まちづくり戦略」により、安定的成長を実現

- 地域と共生し、グループ力を結集した独自の商業施設づくりを実現
- 百貨店業とのシナジーにより各事業の競争力を發揮、海外事業も強化



## 2023年度営業利益430億円達成に向けた事業別取り組み

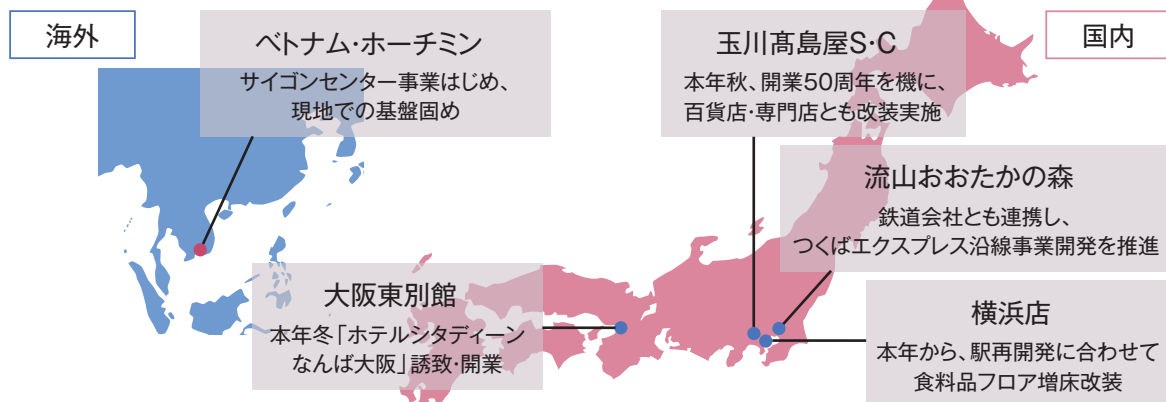
- 国内百貨店業では、まちづくり戦略のもと大型店の改装を継続的に実施するとともに、経営改革を断行し、2023年度営業利益100億円を目指します。
- 国内グループ業では、東神開発を中心とする不動産業や高島屋クレジットをはじめとする金融業の強化により、営業利益225億円を目指します。
- 海外事業では、成長著しいベトナムをシンガポールに続く第2の拠点としていくことにより、営業利益110億円を目指します。

	2023年度 営業収益目標	2018年度差	2023年度 営業利益目標	2018年度差	投資額
国内百貨店	7,600億円	△230億円	100億円	+15億円	530億円
国内グループ	2,300億円	+750億円	225億円	+80億円	750億円
海外事業	600億円	+260億円	110億円	+40億円	260億円
特別投資 (SDGs等含む)					760億円
合計	9,900億円	+770億円	430億円	+135億円	2,300億円

### これからのまちづくり戦略

国内17店舗・海外4店舗ほか、それぞれのエリアでまちづくりを推進

- 大型5店舗及び収益エリア(二子玉川・流山おおたかの森)へ投資
- 海外では成長著しいベトナムをシンガポールに続く第2の拠点へ





## TAKASHIMAYA GROUP TOPICS

インバウンド向け免税還付サービスをスタート  
電子決済の拡充や、一部店舗でモバイル決済  
「アリペイ」「ウィーチャットペイ」を活用した免税還付  
サービスを開始しました。



### 御即位30年 御成婚60年記念 特別展『国民とともに歩まれた平成の30年』

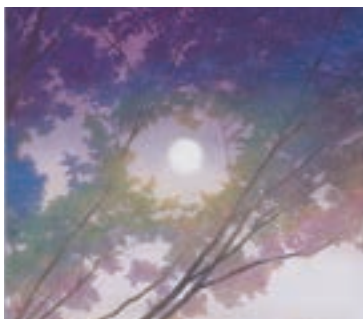
京都店と日本橋店で開催。各都道府県から贈られた  
両陛下への献上品や御即位時の御装束、儀装馬  
車などゆかりの品が展示されました。



京都店(1月)、日本橋店(4月)

### 手塚雄二展 光を聴き、風を視る

3月に日本橋店で開催。新時代の日本画を切り拓く  
手塚雄二画伯の代表作である「おぼろつくよ」や  
新作など過去最大規模の約70点を展示しました。



日本橋店・横浜店(3月)、大阪店(4月)、  
京都店(5月8日~20日)

### 京都店四条通売場改装

本館西隣の四条通沿いに、イタリアの高級ブランド  
「グッチ」の路面店をオープン。京都では最大の売場  
面積を誇ります。



大阪店にdear mayukoの新ショップがオープン  
当社とサーレン株式会社の合弁会社によるビュー  
ティーブランド「dear mayuko」の新店舗を、今年1月、  
大阪店にオープンしました。



株式会社ティーアンドティーを取得  
つくばエクスプレス沿線の駅構内・高架下等の商業  
施設運営や管理事業を営む株式会社ティーアンド  
ティーを東神開発が取得しました。



流山おおたかの森駅

二子玉川の柳小路に「南角」を開業

みなみかど

玉川高島屋S・C西側の裏路地再生エリア・  
柳小路に、飲食店など6店舗が集まる「南角」を  
開業しました。



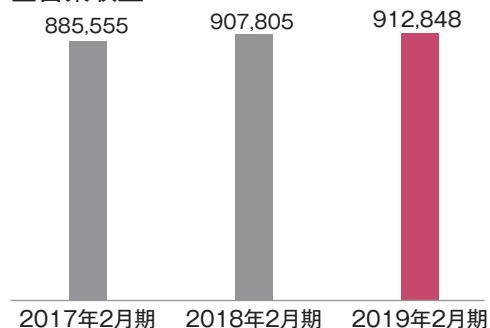
ホーチミン高島屋の食料品売場を改装  
9月の食料品売場の改装では、軽食やドリンク、  
ベトナム土産等を充実させ、ご要望の多かった  
フリー飲食コーナーも拡張しました。



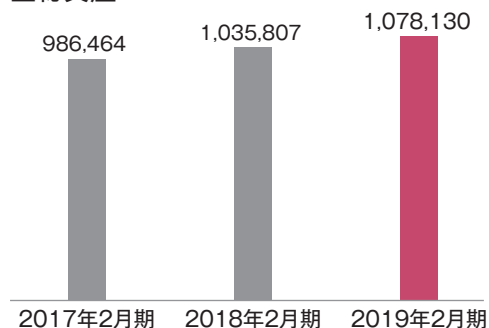
## 主要な財務情報

### 連結業績

#### ■営業収益<sup>(※)</sup>(百万円)

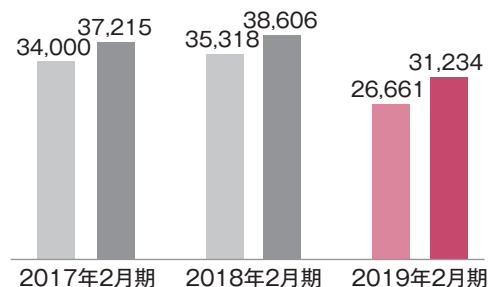


#### ■総資産(百万円)

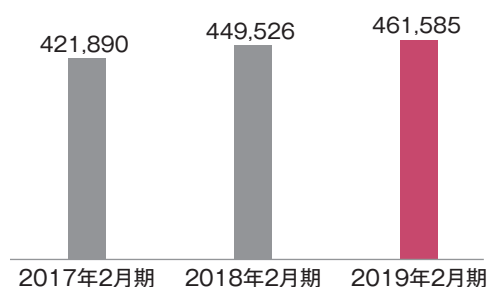


#### ■営業利益・経常利益(百万円)

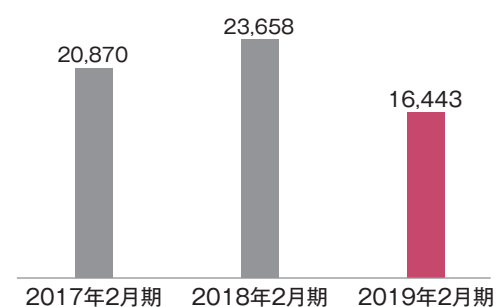
■営業利益 ■経常利益



#### ■純資産(百万円)

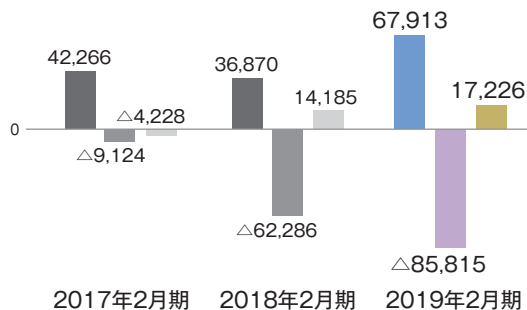


#### ■親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



#### ■キャッシュ・フロー計算書(百万円)

■営業活動によるキャッシュ・フロー  
■投資活動によるキャッシュ・フロー  
■財務活動によるキャッシュ・フロー



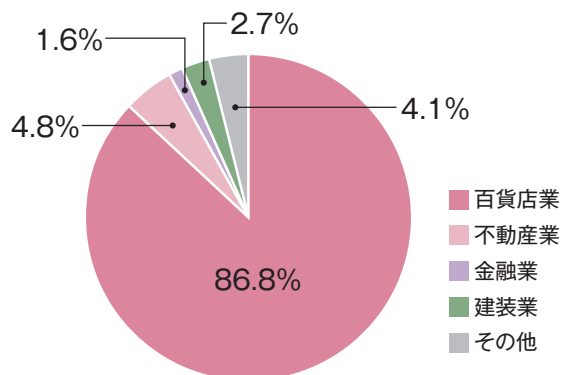
※2019年2月期より、国際財務報告基準(IFRS)に準拠した財務諸表を連結している在外連結子会社の消化仕入取引について、売上総利益相当額を「売上高」に計上する純額表示に変更しています。2017年2月期・2018年2月期については、遡及適用後の数値を記載しています。



## ■セグメント情報 (2019年2月期/百万円)

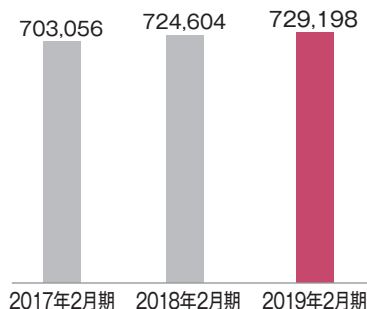
	営業収益	営業利益
百貨店業	792,045	8,691
不動産業	43,681	9,410
金融業	14,944	4,880
建装業	24,795	727
その他	37,381	2,938
調整額	—	13
連結財務諸表計上額	912,848	26,661

## ■事業別営業収益構成比 (2019年2月期)

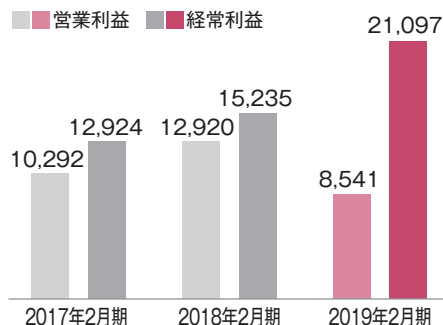


## 単体業績

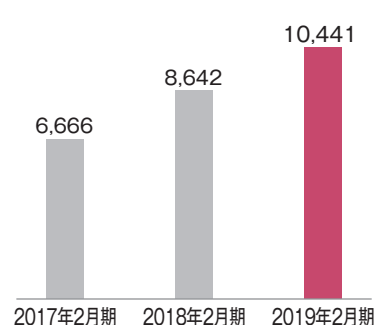
### ■営業収益 (百万円)



### ■営業利益・経常利益 (百万円)



### ■当期純利益 (百万円)



## 2020年2月期連結収支計画

(%表示は、通期は対前期増減率、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	458,000	3.7	14,500	8.0	13,500	△16.3	12,500	42.3	71.53
通 期	942,000	3.2	31,000	16.3	29,000	△7.2	20,000	21.6	114.45

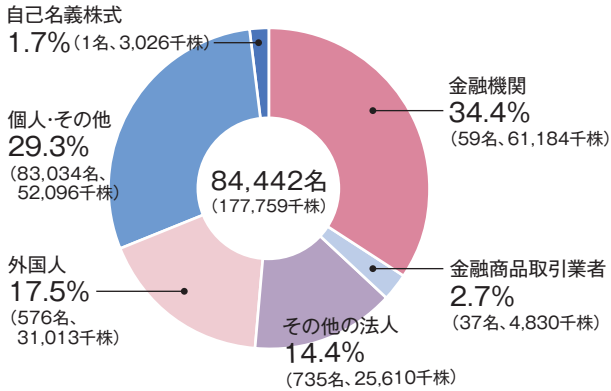
※2020年2月期より、国際財務報告基準(IFRS)に準拠した財務諸表を連結している在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」が適用されます。そのため、上記連結業績予想は適用後の金額です。なお、遡及適用しないため、対前期及び対前年同四半期の増減率に使用した2018年度の数値は適用前の実績値です。

▶より詳細な財務情報は、当社ホームページ「IR情報」をご参照ください。 [高島屋 IR情報](#) [検索](#)

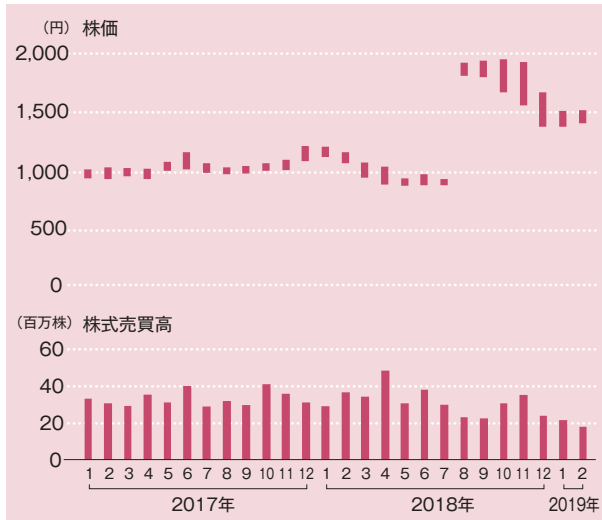
■株式数および株主数(2019年2月28日現在)

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式数	177,759,481株
株主数	84,442名

■所有者別株式分布状況(2019年2月28日現在)



■株価(高値・安値)および株式売買高の推移



(注)2018年9月以降は株式併合(2株を1株とする)による株価、株式数にて記載しております。2018年8月の株価は株式併合による調整後株価になります。

■役員(2019年5月21日現在)

代表取締役 取締役会長	鈴木	木弘	治
代表取締役 取締役社長	村田	善郎	
代表取締役 専務取締役	栗野	光章	
代表取締役 常務取締役	山口	健夫	
代表取締役 常務取締役	岡部	恒明	

常務取締役	亀岡	恒方	
常務取締役	田中	良司	
常務取締役	安田	洋子	
常務取締役	井上	淑子	
社外取締役	中島	馨	
社外取締役	後藤	晃	
社外取締役	鳥越	けい子	

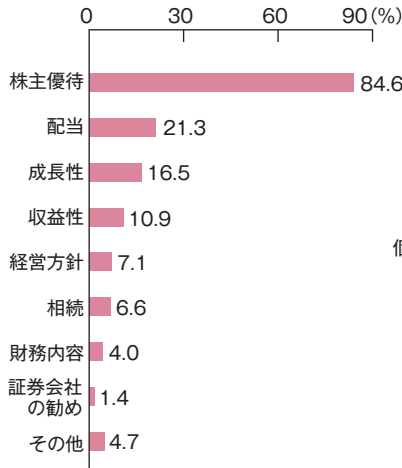
常勤監査役	鋤納	健治	
常勤監査役	平本	彰	
社外監査役	武藤	英二	
社外監査役	西村	寛	

上席執行役員	高久	充	
執行役員	横田	隆司	
執行役員	片岡	不二恵	
執行役員	青木	和宏	
執行役員	田原	和也	
執行役員	横山	和久	
執行役員	伊藤	順彦	
執行役員	牧野	考一	
執行役員	牧野	泉	
執行役員	八木	信和	

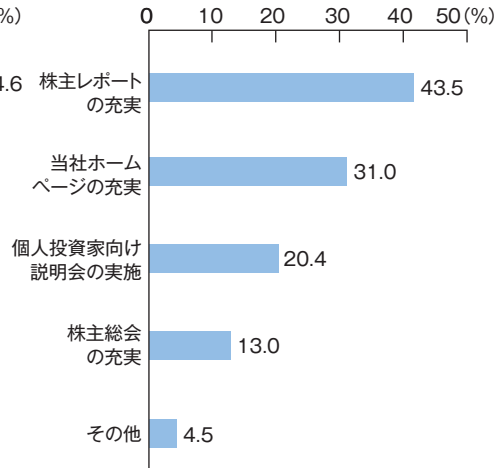
## 株主アンケートのご報告

昨年11月に実施いたしましたアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケートの回収率は10.9%でした。株主の皆様から頂戴した貴重な情報を、今後のIR活動などにできる限り反映させてまいりたいと存じます。

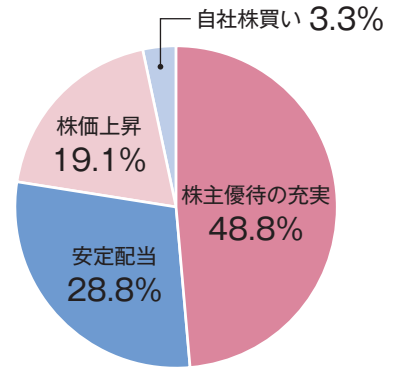
**Q** 当社の株式を保有された理由  
(複数回答可)



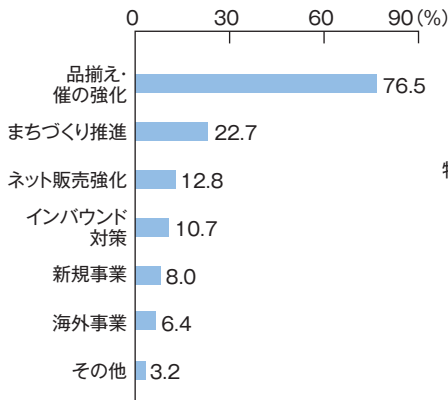
**Q** 今後当社のIR活動として最も期待することは何ですか。  
(複数回答可)



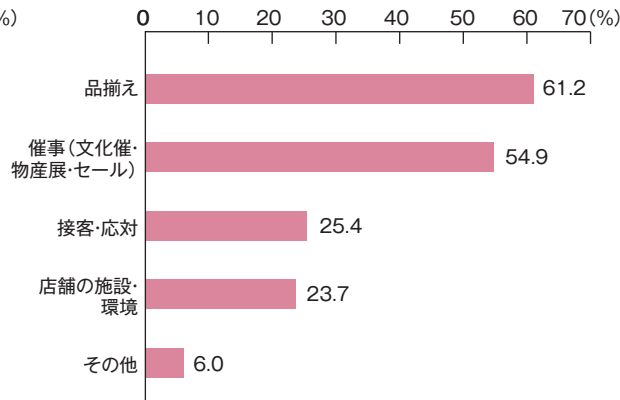
**Q** 株主還元策として最も期待することについてお聞かせください。



**Q** 当社の事業戦略、取り組みについて期待することは何ですか。  
(複数回答可)



**Q** 当社ご利用の店舗にて充実を期待することは何ですか。  
(複数回答可)





## 株主優待制度のご案内

毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に記載された単元株式数以上ご所有の株主の皆様へ「株主様ご優待カード」を発行いたします。通信販売カタログの送付をご希望の株主様は、以下のフリーダイヤルまでお申し込みください。



通信販売カタログ受付フリーダイヤル ☎ 0120-111-777

### ■株主様ご優待カードのご案内

- (1) 優待カードのご利用により、高島屋各店での割引対象商品のお買物につき、ご利用限度額の範囲内で10% (1円未満切り捨て) を割引いたします。
- (2) お支払いには、現金、当社の商品券、タカシマヤバラカード、タカシマヤギフトカード、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカード、友の会お買物カード(いよてつ高島屋を除く)、ギフト券(クレジット会社等発行)がご利用いただけます。また、クレジットカードでのお支払いにはタカシマヤカード《ゴールド》、タカシマヤカード、タカシマヤセゾンカード、外商お得意様用の各カードがご利用いただけます(その他のクレジットカードはご利用いただけません)。他のご優待割引、各種ポイントサービスとの併用はできません。上記クレジットカードでのお支払い時は、クレジットカードのポイントはつきません。
- (3) タカシマヤプラチナデビットカードもお支払いにご利用いただけます(ただし、ジェイアール名古屋タカシマヤ、いよてつ高島屋を除く)。タカシマヤプラチナデビットカードでのお支払い時は、銀行口座からの引き落とし金額に対して2%のポイントがつかます。
- (4) 優待カードをご持参されない場合は、割引いたしかねます。
- (5) **割引対象外の品目、ブランド** 商品券、タカシマヤギフトカード、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカード、ギフト券類、金・銀・白金の地金類、たばこ、食堂(イトインコーナー含む)、喫茶、旅行費用、荷具・送料、修理・加工料、箱代、保険料、ルイ・ヴィトン、ティファニー、ベルルッティ、ブルガリ、カルティエ、エルメス、フォクシー、ディズニーストア、ポケモンセンター、シャネルブティック、シャネルジュエリー、パテック・フィリップ、ヴァン クリーフ&アーペル、ロレックス、デルヴォー、ゲーム機本体、その他各店で特に指定する売場・商品等については、割引対象外とさせていただきます。  
(注) 2019年6月1日より、「リシャルミル」商品全てを優待割引の対象から除外とさせていただきます。  
(注) 割引対象外の品目、ブランドは、予告なく変更させていただく場合がございます。
- (6) **代金引き換え配達のご利用方法** 通信販売または売場でのお買物で、ご注文の際にご優待カードご利用の旨をお申し出いただいた場合に限り、商品配達時に代金引き換えのお支払い方法で、ご優待カードをご利用いただけます(ただし、ジェイアール名古屋タカシマヤ、いよてつ高島屋を除く)。
- (7) **オンラインストアでのお支払い方法** コンビニエンスストア、ネット銀行、ペイジー(金融機関ATM等)、タカシマヤプラチナデビットカード、タカシマヤカード《ゴールド》、タカシマヤカード、タカシマヤセゾンカード、外商お得意様用の各カード及び友の会お買物カードでのお支払いになります。  
(注) オンラインストア及び通信販売のお支払いにおいて、友の会お買物カードをご利用いただく場合は、事前に高島屋各店友の会窓口(いよてつ高島屋を除く)、またはオンラインストア(マイページ)にて「認証コード」のご登録が必要となります。

- (8) 高島屋文化催の無料入場 ご優待カードのご提示により、3名様まで高島屋各店で開催いたします有料文化催に無料でご入場いただけます。
- (9) ご優待カードは株主様ご本人と国内居住のご家族の方がご利用いただけます。
- (10) ご優待カードは他人に譲渡・売買・貸与(ただし、上記(9)の場合を除く)等をされた場合は無効とし、ご利用いただけません。
- (注) 株主様ご優待カードご利用時に、ご本人確認をさせていただく場合がございます。ご協力をお願い申し上げます。  
非居住者である訪日外国人旅行者等を対象とした消費税免税を受けるお買物には、株主様ご優待カードをご利用いただけません。
- (11) ご優待カードを紛失された場合、再発行いたしかねますのでご承知おきください。
- (12) ご優待カードの分割発行はいたしかねますのでご承知おきください。
- (13) 1回のお買物で、2枚以上の「株主様ご優待カード」をご利用いただくことはできません。
- (14) ご優待カードは高温多湿な場所や、磁気を帯びたもの(テレビ・オーディオ機器・冷蔵庫等)の近くに置かないようご注意ください。また携帯電話やスマートフォン、ハンドバックや財布等の磁石留め具など、強い磁気を発するものとの接触や、一緒に携帯することで磁気が劣化する場合がありますのでご注意ください。

## ■取扱店舗

高島屋各店 大阪店、堺店、泉北店、京都店、洛西店、日本橋店、横浜店、港南台店、新宿店、玉川店、立川店、大宮店、柏店、

タカシマヤフードメゾンおたかの森・新横浜・岡山 各店、

タカシマヤスタイルメゾン海老名店(ららぽーと海老名内)、

エキ・タカ 泉ヶ丘タカシマヤ店(泉北高速鉄道 泉ヶ丘駅)

岡山高島屋 岐阜高島屋 米子高島屋 高崎高島屋 ジェイアール名古屋タカシマヤ いよてつ高島屋  
タカシマヤ通信販売 高島屋オンラインストア

(注)「日本橋高島屋S.C.新館」、「タカシマヤ ゲートタワーモール」などの専門店ではご利用いただけません。

## ■お買物優待のご利用限度額

ご所有株数	ご利用限度額
100株以上 500株未満	30万円
500株以上	限度額なし

## ■郵送時期および有効期間

対象株主	郵送時期	有効期間
2月末日現在の株主	5月下旬(定時株主総会終了後)	ご優待カード到着日より同年11月30日まで
8月31日現在の株主	11月下旬	ご優待カード到着日より翌年5月31日まで

※ご利用限度額は10%割引が適用されるお買物の限度額です。

## ■株主優待制度についてのお問い合わせ

株式会社高島屋 総務部

〒103-8265 東京都中央区日本橋2丁目4番1号 TEL.(03)3231-8807(受付時間/10:00~18:00)

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日までの1年間
配当金受領株主確定日	2月末日 中間配当を実施するときの株主確定日は、8月31日です。
定時株主総会開催時期	5月
公告方法	電子公告をもって行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 (ホームページアドレス <a href="https://www.takashimaya.co.jp/">https://www.takashimaya.co.jp/</a> )
単元株式数	100株
証券コード	8233
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (受付時間:土・日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご了承ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

ホームページアドレス <https://www.takashimaya.co.jp/>



本冊子は環境保全のため、再生紙を使用し、「植物油インキ」で印刷しています。